

2024 年 7 月 16 日

各位

福島県いわき市鹿島町走熊字七本松 27 番地の 1
株式会社ハニーズホールディングス

中期経営計画（見直し）の一部修正について

中期経営計画（見直し）につきまして、その一部に誤りがございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり修正させていただきます。

記

【修正箇所】

資料 7 ページ（下線は修正箇所を示します。）

	（修正前）	（修正後）
	2025 年 5 月期	2025 年 5 月期
	今期計画	今期計画
営 業 利 益	<u>75</u> 億円	<u>74</u> 億円
営業利益率	<u>12.7</u> %	<u>12.5</u> %

以上

株式会社ハニーズホールディングス

2023年5月期-2025年5月期(3ヵ年)
中期経営計画 ローリング2024

“HONEYS 2.2 NEXT STEP”



中期経営計画の骨子
4つの「X」を切り口に、
今後3カ年の「ハニーズ」を構築していく

1. ハニーズのCX(カスタマー・エクスペリエンス:顧客体験価値)

- 商品力の強化「より良い商品」
- 販売力の強化「居心地のよい店舗」
- EC事業の強化「OMOの実現」

2. ハニーズのDX(デジタル・トランスフォーメーション)

- 事業基盤の強化、生産性の向上につながる業務の効率化
- OMO実現に向けた物流機能の強化

3. ハニーズのEX(エンploy・エクスペリエンス:従業員体験)

- 多様な人材の確保と常に成長していける環境づくり
- 従業員満足度の向上

4. ハニーズのSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)

- サステナブル課題(環境、人権等)への取り組み

1

<中期経営計画>

それではこれより、
中期経営計画の進捗等について、ご報告いたします。

今期は、中期経営計画3カ年の最終年度となります。
前期までの状況と、
今期の取り組みなどについて、その概要をご説明いたします。

当社グループ中期経営計画の骨子につきましては、
ご覧のとおりです。

1. ハニーズのCX(カスタマー・エクスペリエンス:顧客体験価値)

2024年5月期	2025年5月期
■商品力の強化	
▶ ユニセックス商品の販売を開始 ▶ SS、LL、3Lサイズ商品の投入強化 ▶ 店舗運営管理者(オペレーションマネジャー、スーパーバイザー)の企画会議への参加で、店舗スタッフの声を収集、商品企画の精度を向上 ▶ 全国のお客様の声を収集	▶ ユニセックス商品の展開カテゴリーの拡大 ▶ SS、LL、3Lサイズ商品の精度アップ ▶ 店舗スタッフや全国のお客様の声を反映した商品企画の強化。
■販売力の強化・EC事業の強化(OMO)	
▶ 販売促進室の新設 ▶ PR活動強化、客層の拡大 ▶ EC限定商品の投入 ▶ MA(マーケティングオートメーション)ツールの導入	▶ PR活動の強化による客層、客数の拡大 ▶ EC限定商品の拡大 ▶ MAツールの運用を開始、ターゲットに合わせた情報発信

2

<取り組み状況: CX>

まず、CX(顧客体験価値)の向上へ向けた取り組みです。

商品力を強化するため、「ユニセックス商品」の取り扱いを開始しました。

今期は、取扱う商品カテゴリーを拡大するとともに、PR活動にも力を入れ、客層の拡大を図ってまいります。

販売力やEC事業の強化については、
新設した販売促進室と連携し、
ターゲットごとに情報発信の強化を行っていくとともに、

実店舗とECとの相互連携や、相互送客に引き続き取り組み、
お客様にとってご利用しやすい環境整備に努めてまいります。

2. ハニーズのDX(デジタル・トランスフォーメーション)

2024年5月期	2025年5月期
■業務のデジタル化	
▶ 全店舗へスマートフォンの導入、電子帳簿保存法等への対応を実施 ▶ 売場づくりの精度向上にスマートフォンを活用	▶ 業務効率化へ向けたアプリ等の導入 ▶ 業務マニュアル等のデジタル化、動画活用などペーパーレス化の推進
■物流センターの機能強化	
▶ 店舗への商品投入体制の強化 ▶ EC事業の拡大へ向け、EC棟の増築を開始(2023年秋着工)	▶ AIを使用した店舗への商品自動追加システムの導入を予定 ▶ EC棟の竣工・稼働(2024年9月予定) ▶ 機械設備導入による業務効率化

<取り組み状況:DX>

続いてDXの取り組みです。

業務の効率化においては、
全店舗へのスマートフォン導入により、
電子帳簿保存法等への対応のほか、売場づくりの精度向上に努めました。

今期は、アプリ等を活用した接客の強化や
従業員教育への活用に取り組んでまいります。

物流センターの機能強化においては、
現在、EC事業の拡大に向けたEC棟増築工事を行っており、
業務効率化へ向けた設備の導入など準備を進めております。

EC棟増築工事は、本年9月頃の完成を予定し、
EC事業の受注・発送能力の向上や、
店舗への商品自動追加システムの効率化を図っていく予定です。

3. ハニーズのEX(エンploy・eksぺリエンス:従業員体験)

2024年5月期	2025年5月期
■従業員満足度向上	
▶ 給与ベースアップを実施	▶ 給与ベースアップを実施予定
■業務効率化・従業員教育の充実	
▶ 業務マニュアルの再整備 ▶ 社内研修の実開催を再開	▶ 動画マニュアルの活用推進 ▶ 社内研修の実開催を継続 ▶ 資格試験の補助、福利厚生制度の拡充
■女性管理職比率	
▶ 42.1%(目標40%を達成)	▶ 新たに目標 45%に設定

<取り組み状況:EX>

続いてEX(従業員体験)の向上へ向けた取り組みです。

優秀な人材の確保と従業員の満足度向上を図るため、給与ベースアップ等を実施しました。

前期は平均5%の賃上げを実施しましたが、今期も引き続き賃上げを実施する予定です。

その他、従業員教育の充実を図っていくとともに、優秀な人材の管理職への登用を行った結果、女性管理職比率につきましては、当初40%を目標としておりましたが、前期末時点で42%を達成したため、新たに45%を目指して取り組んでまいります。

4. ハニーズのSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)

2024年5月期	2025年5月期
■サステナブル対応	
▶ サステナブル商品割合(約30%) ▶ ミャンマー第3工場へ最新式の洗濯機・乾燥機を導入し、節水や汚水再利用(50%)、節電能力(40%)を向上 ▶ TCFD提言への賛同表明、情報開示	▶ サステナブル商品割合(目標40%) ▶ 第3工場および食堂棟への太陽光発電設備の導入 ▶ TCFD提言にかかる情報開示の更新 ▶ Scope3データの収集と開示へ向けた準備 ▶ 社内外へのサステナブル活動の情報発信
■商品廃棄量の低減	
▶ 不良品は、補正・修繕し良品化へ。良品化が難しく、着用に支障がない商品に関しては廉価販売	▶ ハギレ等の残布について外部団体への寄付やリユース

<取り組み状況: SX>

続いて、サステナブル課題への取り組みです。

サステナブルな商品の取り扱いについては、
前期は商品の約3割程度となりました。
引き続き目標の達成に向けて取り組んでまいります。

また、商品廃棄量低減への取り組みについては、
これまでも当社グループ全体として取り組んでまいりましたが、
今後は外部団体への寄付やリユースを行うことによって、
より廃棄量の低減に取り組んでまいります。

当社グループでは、
気候変動への対応や、環境負荷の低減をはじめとする社会的な課題の解決にむけ、
また、人と環境が調和した持続可能な社会の実現や
中長期的な企業価値の向上にむけて
今後も取り組んでまいります。

5. 新たな取り組み 新ブランド:GLACIER lusso

2024年5月期	2025年5月期
■ GLACIER lusso	
▶ ECサイト+既存店約100店舗にて コーナー展開	▶ 2024年9月実店舗OPEN予定 ▶ 今期5店舗出店を目指す



6

<新たな取り組み>

中期経営計画4つの「X」の取り組みのほか、
新たな取り組みとして、
新ブランド「グラシアルッソ」を立ち上げました。

今期は、EC販売状況や
既存店でのテストマーケティングを踏まえ、
「グラシアルッソ」実店舗のOPENに向けて取り組んでまいります。

今期は、単独実店舗として、
5店舗程度の出店を目指してまいります。

第1号店としましては、
9月頃を予定しております。

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期	(ご参考)2025年5月期	
	実績	実績	今期計画	2022年7月 公表値	2023年7月 公表値
売上高	548億円	565億円	590億円	550億円	600億円
営業利益	76億円	69億円	74億円	60億円	80億円
営業利益率	14.0%	12.3%	12.5%	10.9%	13.3%
R O E	13.6%	11.4%	10.5%	9.0%	11.6%
EC売上高	55億円	61億円	72億円	80億円	72億円
EC売上比率	10.0%	10.8%	12.2%	14.5%	12.0%

7

<経営数値目標(連結)>

2023年5月期から2025年5月期の3ヵ年において、
当社グループは新しい「経営ビジョン」のもと取り組んでおりますが、
中期経営計画最終年度となる2025年5月期の経営数値目標について、
その見通しを修正いたしました。

足もとの状況は、所得・雇用環境の改善もあるなか、
物価上昇の影響や、想定以上の円安が仕入コストに大きく影響しており、
当初計画策定時から、外部環境は大きく変化しております。

売上高は、個人消費の伸び悩みもあり、590億円といたしましたが、
2022年7月公表の当初目標550億円はクリアする見込みです。

なお、中期経営計画の骨子等の内容については、
当社ホームページに掲載しております。

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている株式会社ハニーズホールディングスの将来に関する見通しは、過去の事実でないために不確定になるリスク要因を含んでおります。

従って、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性がありますという
ことをご了承ください。

その他留意事項

資料内数値は百万円未満切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。

